

HSBC インド オープン

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	H S B C インド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインド共和国(「インド」)の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 S&P/IFC Investable India (円ベース) をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。	
主要運用対象	HSBC インド オープン	HSBC インド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インド マザーファンド	主にインドの証券取引所に上場している株式等を投資対象とします。
組 入 制 限	HSBC インド オープン	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インド マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	年1回の決算時(毎年11月29日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書 (全体版)

第20期 (決算日 2024年11月29日)

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インド オープン」は、2024年11月29日に第20期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
《お問い合わせ先 (投信営業本部)》
電話番号：03-3548-5690
(営業日の午前9時～午後5時)
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / I F C Investable India (円 ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期(2020年11月30日)	17,698	170	△ 6.8	50,146	1.7	96.6	—	59,555
17期(2021年11月29日)	26,086	300	49.1	76,369	52.3	96.8	—	65,277
18期(2022年11月29日)	29,624	300	14.7	91,906	20.3	97.8	—	67,183
19期(2023年11月29日)	33,415	300	13.8	107,665	17.1	96.9	—	86,406
20期(2024年11月29日)	42,300	300	27.5	140,700	30.7	97.4	—	130,643

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 当ファンドのマザーファンドの組入資産には、Participatory Note (P-Note) が含まれる場合があります。P-Noteとは、現地国での外貨投資制限を避けるために、非居住者に対してブローカー（銀行、証券会社等）が発行する未上場証券であり、金融商品取引法第2条第1項第19号に規定する有価証券「オプションを表示する証券または証書」に分類されます。また、P-Noteは、現地国の特定の株式の価格に連動するため、「株式組入比率」に含めて表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		S & P / I F C Investable India (円 ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期 首) 2023年11月29日	円 33,415	% —	107,665	% —	% 96.9	% —
11月末	33,866	1.3	109,189	1.4	95.9	—
12月末	35,103	5.1	114,157	6.0	97.7	—
2024年1月末	36,906	10.4	120,825	12.2	95.2	—
2月末	39,224	17.4	126,748	17.7	94.8	—
3月末	39,711	18.8	128,060	18.9	95.8	—
4月末	42,009	25.7	137,049	27.3	95.5	—
5月末	41,297	23.6	137,789	28.0	95.2	—
6月末	45,370	35.8	152,116	41.3	95.9	—
7月末	44,600	33.5	149,866	39.2	95.4	—
8月末	43,020	28.7	143,752	33.5	94.5	—
9月末	43,749	30.9	146,120	35.7	96.0	—
10月末	43,789	31.0	145,877	35.5	97.4	—
(期 末) 2024年11月29日	42,600	27.5	140,700	30.7	97.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

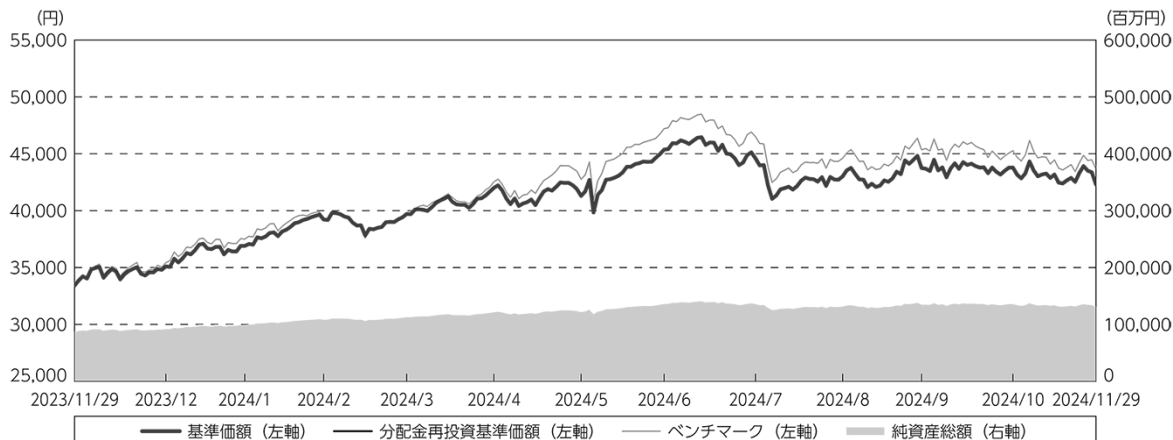
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

※S&P/IFC Investable Indiaとは、インドの非居住者がインド株式への投資を行うことを前提として、時価総額、流動性や非居住者に対する各種投資制限（個別株、業種等）等を考慮し算出された時価総額加重平均インデックスです。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しております。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第20期：2023年11月30日～2024年11月29日）



期 首：33,415円

期 末：42,300円（既払分配金（税込み）：300円）

騰落率： 27.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2023年11月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、S & P / I F C Investable India（円ベース）です。

基準価額の主な変動要因

当期においては、投資対象であるインドの株式市場は上昇し、基準価額の上昇の主な要因となりました。当期のベンチマークのインドルピー建てでの騰落率は+29.2%でした。また、為替においてもインドルピーが対円で1.1%の上昇となり、株式、為替ともに基準価額の上昇要因となりました。

個別銘柄では、組入上位に維持した大手民間銀行のICICI銀行の株価が39.6%の上昇となり、ファンド全体には2.3%のプラス寄与、消費者サービスのゾマトの株価が144.3%上昇し、ファンド全体には2.2%のプラス寄与、金融サービスのインド・マルチ商品取引所の株価が101.1%の上昇となり、ファンド全体には2.0%のプラス寄与となり、各々、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

【株式市況】

当期のインド株式市場では、SENSEX指数が前期末比で19.4%上昇しました。株式市場は、期初から2024年9月下旬にかけて上昇基調となりました。インフレの落ち着き、国内投資家による継続的な買い、3期目を迎えたモディ政権による政策の継続性の表明、企業の好調な利益成長率への期待などが上昇要因となりました。その後、高値警戒感、外国人投資家による利益確定の売り、全般的にやや冴えない内容となった2024年7-9月期の企業業績、インフレ再燃懸念などに伴い期末にかけて下落傾向に転じました。

【為替相場】

当期のインドルピーは円に対して前期末比で1.1%上昇しました。インドルピーは対円で、期初から2024年1月初旬にかけてやや軟調となったのち、インフレの落ち着き、インドの堅調な経済成長などにより7月上旬にかけて上昇基調に転じました。その後、日銀の追加利上げや米国の早期利下げ観測に伴う米ドル安・円高進行から9月中旬にかけて下落傾向となったものの、インド準備銀行による物価・為替重視の姿勢や、米国の堅調な経済による米ドル高・円安の流れを背景に期末にかけて上昇傾向に転じました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

<HSBC インド オープン>

「HSBC インド マザーファンド」への投資を通じて、主にインドの株式などに投資しました。

<HSBC インド マザーファンド>

不動産、ヘルスケア、金融セクターをオーバーウェイトとしました。他方、公益事業、資本財、通信をアンダーウェイトとしました。

不動産においては、価格帯が手頃となっていることに加え、マクロ環境や住宅需要が改善されていることなどからセクターにて最大のオーバーウェイト幅を維持しました。

ヘルスケアについては、安定した収益を背景にバリュエーションに妙味があることなどから、オーバーウェイトを維持しました。

金融については、大手民間銀行において、引き続き市場シェアの拡大とデジタル化を背景とした投資機会が見られると判断し、組入上位を維持しました。

一方、公益事業は政府による規制により収益性の低下が否めないことからアンダーウェイトとしました。また、資本財はインフラ分野成長の恩恵はあるものの、割高となっていることなどから、通信はリスク調整後の期待リターンが他のセクターと比べ相対的に魅力が低いことなどからアンダーウェイトとしました。

基準価額（マザーファンド）の推移



ベンチマークとの差異について

当ファンドの当期のベンチマークは30.7%の上昇となりました。一方基準価額は、分配金再投資ベースで27.5%の上昇となり、ベンチマークを3.2%下回りました。そのうち、3.8%分は当ファンドの当期中の経費で、残りは主に銘柄選択によるものでした。銘柄選択における主なプラス要因、マイナス要因は以下のようになります。

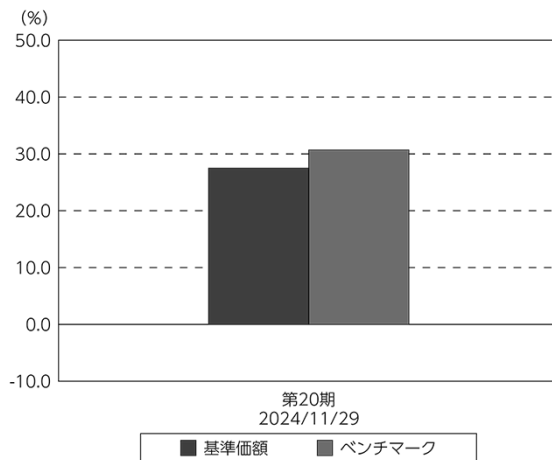
<プラス要因>

オーバーウェイトにしていた金融サービスのインド・マルチ商品取引所ではオプションの取引高が急増していることなどから、消費者サービスのゾマトが堅固な実行力により確実に市場シェアを拡大していることなどから、また、PBフィンテックが生成AIや不正の早期検出機能等でオンライン保険市場において圧倒的な市場シェアを維持したことなどから、各々、株価の騰落率がベンチマーク指数を上回り、特にプラス寄与となりました。

<マイナス要因>

オーバーウェイトにしていた素材のダルミア・バーラトは買収戦略を巡る不確実性や限定的な事業拡大計画が逆風となっていることなどから、各種金融のSBI カーズ&ペイメント・サービスは予想以上に高い信用コストが発生していることなどから、インダスインド銀行は資産の質に関する懸念から収益性と成長性が抑制されていることなどから、株価の騰落率がベンチマーク指数を下回ったため、マイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、S & P / I F C Investable India（円ベース）です。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、300円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第20期
	2023年11月30日～ 2024年11月29日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	0.704%
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	37,277

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

構造改革、設備投資の増加、成長に有利な人口動態、サプライチェーンの再構築、政策の継続性などを通じて、中期的にインドの経済成長のさらなる拡大が期待出来るとともにインド企業の堅調な利益成長も見込まれることが、株式市場にとり支援材料と考えます。なお、2024年7-9月期の企業業績は原油やコモディティ価格の値上がり、一部地域の豪雨による需要への悪影響などを受けて全般的にやや冴えない結果となったものの、中長期的に堅調な業績見通しに変わりはないと見ています。加えて、米国のトランプ次期政権による政策を巡る不確実性が世界的に懸念されていますが、インドの対米輸出割合は低いことから米国の関税措置に伴うインド経済ひいては株式市場への影響は限定的と考えられます。

<HSBC インド オープン>

引き続き、「HSBC インド マザーファンド」への投資を通じて、インドの株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC インド マザーファンド>

期初においてはセクター別には、引き続き住宅価格の上昇や業界再編の恩恵が期待される不動産、市場の仲介を担う企業を中心とした金融、社会福祉に関する政策の追い風を受けると考えられる生活必需品をオーバーウェイトとする一方、小売価格設定が実質的に政府の管理下にあり収益性に影響を及ぼす可能性がある公益、リスク調整後の魅力的なリターンが期待できる機会を模索中の資本財、世界的に需要への逆風が予想される情報技術をアンダーウェイトとしています。

期を通じて引き続き持続的な収益成長性を有しながらバリュエーションに割安感のある銘柄を選別していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月30日～2024年11月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 896	% 2.200	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(538)	(1.320)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(314)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(45)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	44	0.108	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(44)	(0.108)	
(c) そ の 他 費 用	615	1.510	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(29)	(0.072)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(585)	(1.436)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付およ び届出にかかる費用等
合 計	1,555	3.818	
期中の平均基準価額は、40,720円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

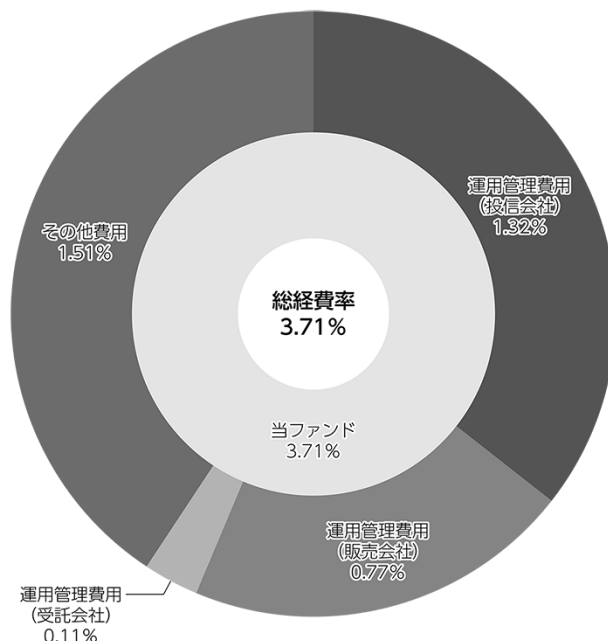
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(c)その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税（1万口当たり583円）を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
なお、その他費用のうち、1.43%が現地におけるキャピタル・ゲイン課税によるものです。

○売買及び取引の状況

(2023年11月30日～2024年11月29日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
H S B C インド マザーファンド	4, 897, 740	41, 156, 845	2, 855, 357	23, 790, 163

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年11月30日～2024年11月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	H S B C インド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	73, 939, 128千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	120, 787, 171千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0. 61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月30日～2024年11月29日)

利害関係人との取引状況

<H S B C インド オープン>

該当事項はございません。

<H S B C インド マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	19, 711	16, 903	85. 8	2, 392	2, 392	100. 0

平均保有割合 94. 5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2024年11月29日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
HSBC インド マザーファンド	千口 12,667,544	千口 14,709,928	千円 131,818,612

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年11月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC インド マザーファンド	千円 131,818,612	% 98.9
コール・ローン等、その他	1,445,456	1.1
投資信託財産総額	133,264,068	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC インド マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（136,749,004千円）の投資信託財産総額（140,886,820千円）に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=150.74円、1インドルピー=1.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	133,264,068,545
コール・ローン等	1,222,679,092
HSBC インド マザーファンド(評価額)	131,818,612,340
未収入金	222,771,754
未収利息	5,359
(B) 負債	2,620,123,069
未払収益分配金	926,552,961
未払解約金	222,771,754
未払信託報酬	1,468,680,312
その他未払費用	2,118,042
(C) 純資産総額(A－B)	130,643,945,476
元本	30,885,098,706
次期繰越損益金	99,758,846,770
(D) 受益権総口数	30,885,098,706口
1万口当たり基準価額(C／D)	42,300円

- (注) 当ファンドの期首元本額は25,858,833,278円、期中追加設定元本額は10,179,497,984円、期中一部解約元本額は5,153,232,556円です。
- (注) また、1口当たり純資産額は4,2300円です。
- (注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年11月30日～2024年11月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	327,327
受取利息	652,549
支払利息	△ 325,222
(B) 有価証券売買損益	24,372,164,151
売買益	27,554,026,025
売買損	△ 3,181,861,874
(C) 信託報酬等	△ 2,631,999,573
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	21,740,491,905
(E) 前期繰越損益金	24,390,982,700
(F) 追加信託差損益金	54,553,925,126
(配当等相当額)	(69,906,575,314)
(売買損益相当額)	(△ 15,352,650,188)
(G) 計(D＋E＋F)	100,685,399,731
(H) 収益分配金	△ 926,552,961
次期繰越損益金(G＋H)	99,758,846,770
追加信託差損益金	54,553,925,126
(配当等相当額)	(69,927,462,192)
(売買損益相当額)	(△ 15,373,537,066)
分配準備積立金	45,204,921,644

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(813,320,033円)、費用控除後の有価証券等損益額(20,927,171,872円)、信託約款に規定する収益調整金(69,927,462,192円)および分配準備積立金(24,390,982,700円)より分配対象収益は116,058,936,797円(10,000口当たり37,577円)であり、うち926,552,961円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。
- (注) 親投資信託の信託財産の運用指図に係る権限を委託するため、に要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、477,418,456円です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	300円
-----------------	------

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

- 約款変更について
- 2023年12月 8 日付
- 少額投資非課税制度の改正に伴い、デリバティブ取引の使用をヘッジ目的に限定する変更を行いました。

◆親投資信託「HSBC インド マザーファンド」の運用状況
第20期（2023年11月30日～2024年11月29日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にインドの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。S&P/IFC Investable India (円ベース) をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。
主要運用対象	主にインドの証券取引所に上場している株式等に投資します。
組 入 制 限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		S & P / I F C Investable India (円 ベ ー ス) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	期 騰 落 中 率 %	期 騰 落 中 率 %	期 騰 落 中 率 %			
16期(2020年11月30日)	32,591	△ 4.7	50,146	1.7	96.6	—	百万円 63,150
17期(2021年11月29日)	50,028	53.5	76,369	52.3	96.4	—	69,669
18期(2022年11月29日)	58,846	17.6	91,906	20.3	97.5	—	71,424
19期(2023年11月29日)	68,565	16.5	107,665	17.1	96.4	—	91,861
20期(2024年11月29日)	89,612	30.7	140,700	30.7	96.5	—	139,343

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 組入資産には、Participatory Note (P-Note) が含まれる場合があります。P-Noteとは、現地国での外貨投資制限を避けるために、非居住者に対してブローカー（銀行、証券会社等）が発行する未上場証券であり、金融商品取引法第2条第1項第19号に規定する有価証券「オプションを表示する証券または証書」に分類されます。また、P-Noteは、現地国の特定の株式の価格に連動するため、「株式組入比率」に含めて表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		S & P / I F C Investable India (円 ベース) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2023年11月29日	円 68,565	% —	107,665	% —	% 96.4	% —
11月末	69,518	1.4	109,189	1.4	97.2	—
12月末	72,224	5.3	114,157	6.0	98.8	—
2024年1月末	76,134	11.0	120,825	12.2	96.0	—
2月末	81,107	18.3	126,748	17.7	95.4	—
3月末	82,264	20.0	128,060	18.9	96.3	—
4月末	87,214	27.2	137,049	27.3	95.8	—
5月末	85,874	25.2	137,789	28.0	96.2	—
6月末	94,588	38.0	152,116	41.3	96.6	—
7月末	93,158	35.9	149,866	39.2	95.9	—
8月末	89,995	31.3	143,752	33.5	94.8	—
9月末	91,697	33.7	146,120	35.7	96.2	—
10月末	91,955	34.1	145,877	35.5	97.4	—
(期 末) 2024年11月29日	89,612	30.7	140,700	30.7	96.5	—

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

前述の2～5ページをご覧ください。

○1万口当たりの費用明細

(2023年11月30日～2024年11月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 92 (92)	% 0.109 (0.109)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1,280 (62) (1,219)	1.513 (0.073) (1.440)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1,372	1.622	
期中の平均基準価額は、84,644円です。			

- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税（1万口当たり1,218円）を含みます。

○売買及び取引の状況

(2023年11月30日～2024年11月29日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	米国	百株 8,596	千米ドル 18,291	百株 919	千米ドル 2,107
国	インド	320,325 (46,898)	千インドルピー 23,196,191 (4,212,422)	109,568 (9,614)	千インドルピー 15,803,070 (4,212,422)

- (注) 金額は受渡し代金。
- (注) 単位未満は切捨て。
- (注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年11月30日～2024年11月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	73,939,128千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	120,787,171千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月30日～2024年11月29日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 19,711	百万円 16,903	% 85.8	百万円 2,392	百万円 2,392	% 100.0

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2024年11月29日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(米国)	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
INFOSYS LIMITED	百株	百株	千米ドル	千円	ソフトウェア・サービス
ICICI BANK LTD SPON ADR	—	6,500	14,781	2,228,101	銀行
HDFC BANK LTD-ADR	2,644	3,279	10,124	1,526,226	銀行
	319	860	5,807	875,411	銀行
小計	株数・金額	2,963	10,640	30,713	4,629,740
銘柄数＜比率＞	2	3	—	<3.3%>	
(インド)	株数	株数	千インドルピー		
RELANCE INDUSTRIES LIMITED	15,000	38,783	4,928,563	8,822,129	エネルギー
ESCORTS LIMITED	—	2,349	825,415	1,477,494	資本財
MAHINDRA & MAHINDRA LIMITED	4,000	647	187,783	336,132	自動車・自動車部品
INDUSIND BANK LTD	5,750	5,750	571,320	1,022,662	銀行
TITAN CO LTD	3,800	4,621	1,484,658	2,657,538	耐久消費財・アパレル
OIL AND NATURAL GAS CORPORATION LIMITED	60,000	71,620	1,806,273	3,233,230	エネルギー
GE VERNOVA T&D INDIA LTD	—	1,922	336,585	602,487	資本財
LUPIN LIMITED	6,000	4,558	910,914	1,630,537	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INFOSYS LIMITED	20,500	21,148	3,926,610	7,028,632	ソフトウェア・サービス
HINDUSTAN UNILEVER LTD	4,136	5,216	1,284,325	2,298,942	家庭用品・パーソナル用品
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE	1,250	2,007	1,373,686	2,458,898	ヘルスケア機器・サービス
HCL TECHNOLOGIES LTD	5,500	2,861	526,850	943,063	ソフトウェア・サービス
BHARTI AIRTEL LIMITED	1,000	8,386	1,308,648	2,342,480	電気通信サービス
SUN PHARMACEUTICALS INDUSTRIES LIMITED	15,260	14,537	2,521,198	4,512,946	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DIVI'S LABORATORIES LTD	—	147	87,949	157,430	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	1,100	809	886,543	1,586,913	自動車・自動車部品
TVS MOTOR CO LTD	2,000	2,680	647,541	1,159,098	自動車・自動車部品
JINDAL STEEL & POWER LTD	18,500	19,168	1,719,370	3,077,673	素材
JINDAL STAINLESS LTD	—	12,245	852,296	1,525,610	素材
SHRIRAM FINANCE LTD	6,000	2,031	618,245	1,106,659	金融サービス
LARSEN & TOUBRO LIMITED	9,378	8,373	3,069,726	5,494,810	資本財
ULTRATECH CEMENT LTD	1,550	1,650	1,814,637	3,248,200	素材
TATA CONSULTANCY SVS LTD	2,978	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SUNDARAM FINANCE LTD	—	1,466	599,697	1,073,458	金融サービス
PHOENIX MILLS LTD	3,750	7,500	1,268,962	2,271,442	不動産管理・開発
UNITED BREWERIES LIMITED	872	—	—	—	食品・飲料・タバコ
GODREJ CONSUMER PRODUCTS LTD	5,515	12,264	1,534,573	2,746,885	家庭用品・パーソナル用品
EXIDE INDUSTRIES LIMITED	—	26,033	1,189,860	2,129,850	自動車・自動車部品
BLUE STAR LTD	4,828	—	—	—	資本財
POWER FINANCE CORPORATION	—	9,406	464,670	831,760	金融サービス
DLF LIMITED	31,000	39,499	3,214,639	5,754,204	不動産管理・開発
ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTRO	—	314	392,733	702,992	自動車・自動車部品
TATA MOTORS LIMITED	10,000	8,941	696,944	1,247,530	自動車・自動車部品
MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD	3,650	3,343	2,040,535	3,652,558	金融サービス
PI INDUSTRIES LIMITED	2,100	720	291,326	521,474	素材
ASIAN PAINTS LIMITED	2,750	2,729	670,909	1,200,928	素材
BHARAT ELECTRONICS LIMITED	39,704	41,697	1,274,901	2,282,073	資本財
DALMIA BHARAT LTD	4,000	4,202	764,528	1,368,505	素材
HDFC BANK LIMITED	27,820	29,841	5,350,949	9,578,199	銀行
SBI CARDS & PAYMENT SERVICES	10,741	18,358	1,306,952	2,339,444	金融サービス
ZOMATO LIMITED	60,000	84,196	2,409,119	4,312,323	消費者サービス
KALYAN JEWELLERS INDIA LTD	277	—	—	—	耐久消費財・アパレル

銘		柄	期首(前期末)	当		期		末	業	種	等
			株	数	株	数	評	価			
					外貨建金額		邦貨換算金額				
(インド)			百株		百株		千インドルピー		千円		
DELHIVERY LTD			—		27,787		954,080		1,707,804		運輸
JUBILANT FOODWORKS LTD			—		10,689		686,557		1,228,938		消費者サービス
FSN E-COMMERCE VENTURES LTD			6,701		6,327		110,111		197,099		一般消費財・サービス流通・小売り
PB FINTECH LTD			—		10,335		1,941,832		3,475,880		保険
AXIS BANK LIMITED			18,000		13,103		1,483,971		2,656,308		銀行
MOTHERSON SUMI WIRING INDIA			—		34,821		222,193		397,725		自動車・自動車部品
CONCORD BIOTECH LTD			4,626		3,866		786,342		1,407,552		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MANKIND PHARMA LTD			2,057		—		—		—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VARUN BEVERAGES LTD			—		42,007		2,649,388		4,742,405		食品・飲料・タバコ
HYUNDAI MOTOR LTD INDIA			—		2,052		390,532		699,052		自動車・自動車部品
SWIGGY LTD			—		12,422		610,561		1,092,904		消費者サービス
STATE BANK OF INDIA			25,987		20,751		1,740,752		3,115,947		銀行
ICICI BANK LIMITED			28,000		28,212		3,629,129		6,496,141		銀行
TECH MAHINDRA LIMITED			5,000		7,246		1,241,618		2,222,497		ソフトウェア・サービス
ZYDUS LIFESCIENCES LTD			8,000		5,643		535,367		958,307		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AVENUE SUPERMARTS LIMITED			1,300		1,127		418,899		749,830		生活必需品流通・小売り
UNITED SPIRITS LIMITED			3,000		—		—		—		食品・飲料・タバコ
SBI LIFE INSURANCE COMPANY LIMITED			7,000		—		—		—		保険
小	計	株	数	・	金	額	500,387	748,428	72,561,789	129,885,602	
		銘	柄	数	<	比	率	>	45	53	—
合	計	株	数	・	金	額	503,350	759,069	—	134,515,343	
		銘	柄	数	<	比	率	>	47	56	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準（G I C S[®]）に基づく業種名を採用しております。

(注) 銘柄コードの変更があった場合は、別銘柄として掲載しています。

○投資信託財産の構成

(2024年11月29日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	134,515,343	95.5
コール・ローン等、その他	6,371,477	4.5
投資信託財産総額	140,886,820	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産（136,749,004千円）の投資信託財産総額（140,886,820千円）に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=150.74円、1インドルピー=1.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	140,886,820,822
コール・ローン等	6,217,536,697
株式(評価額)	134,515,343,040
未収入金	44,612,876
未収配当金	109,315,597
未収利息	12,612
(B) 負債	1,543,573,273
未払金	1,259,907,395
未払解約金	283,665,878
(C) 純資産総額(A－B)	139,343,247,549
元本	15,549,595,224
次期繰越損益金	123,793,652,325
(D) 受益権総口数	15,549,595,224口
1万口当たり基準価額(C／D)	89,612円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	13,397,693,042円
期中追加設定元本額	5,234,333,443円
期中一部解約元本額	3,082,431,261円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
H S B C インド オープン	14,709,928,619円
H S B C インド株式ファンド(3ヶ月決算型)	839,666,605円

○お知らせ

約款変更について

2023年12月8日付

少額投資非課税制度の改正に伴い、デリバティブ取引の使用をヘッジ目的に限定する変更を行いました。

○損益の状況 (2023年11月30日～2024年11月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	942,599,196
受取配当金	939,550,075
受取利息	3,181,834
その他収益金	86,345
支払利息	△ 219,058
(B) 有価証券売買損益	30,101,600,616
売買益	32,136,427,356
売買損	△ 2,034,826,740
(C) 保管費用等	△ 1,852,949,681
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,191,250,131
(E) 前期繰越損益金	78,463,433,041
(F) 追加信託差損益金	38,774,053,124
(G) 解約差損益金	△ 22,635,083,971
(H) 計(D+E+F+G)	123,793,652,325
次期繰越損益金(H)	123,793,652,325

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。